

製造業の現場で広がるナレッジ×AI活用

設計・開発

デザインレビュー支援

過去のトラブルや基準書に基づき、AIが一次審査



トラブル情報の再活用

設計段階で類似トラブルを共有し、不具合の再発を防止



設計・仕様書自動更新

会議メモから変更箇所を抽出し、仕様書・設計書を更新



仕様書/図面比較支援

過去の類似事例と比較し、差分を自動抽出



過去トラブル、クレーム情報活用

不具合・クレーム情報を設計に活かし、品質向上



提案書作成支援

過去の提案書に基づき、最適な構成案を提示



生産技術・製造

生産立上げ支援

過去実績から最適な設備設定値をAIがレコメンド



技術伝承支援

熟練者のノウハウを引き出し可視化、技術伝承を加速



作業フロー自動生成

手順書から視覚的なフロー図をAIが自動作成



AI音声による作業ガイダンス

AI音声で作業手順をナビゲート、質問回答や結果の記録にも対応



安全活動支援

ミスやヒヤリハットを解析し、安全対策をAIが提案



改善事例のナレッジ共有

成功事例を共有し、拠点全体の生産性を底上げ



保守・サービス

電話問合せ自動応答

AI音声で一次対応を代行。問合せ対応工数を大幅削減



顧客別技術支援サマリー作成

対応履歴をAIが要約。顧客ごとの状況を即座に把握



音声による手順ガイドと報告書作成

AI音声で作業手順をガイド、音声記録から報告書を即時生成



現場トラブルの即時共有

現場トラブルを即座に共有。迅速な初動対応を実現



予防保全アシスト

過去のメンテナンス情報から点検時期を自動予測



FAQ自動生成

膨大なマニュアルや説明書から、FAQを自動生成



その他・共通

見積書自動作成

構成、価格表等をもとに、AIが見積書を自動作成



翻訳支援

AIによる即時翻訳で、海外拠点との連携を円滑化



生産拠点QCDの自動集計

生産拠点のQCDを日次集計し週単位で自動レポート



電話注文・見積自動対応

AI音声で電話での受注・見積対応を代行



議事録自動作成

会議メモや録音から重要事項を抽出、議事録を作成

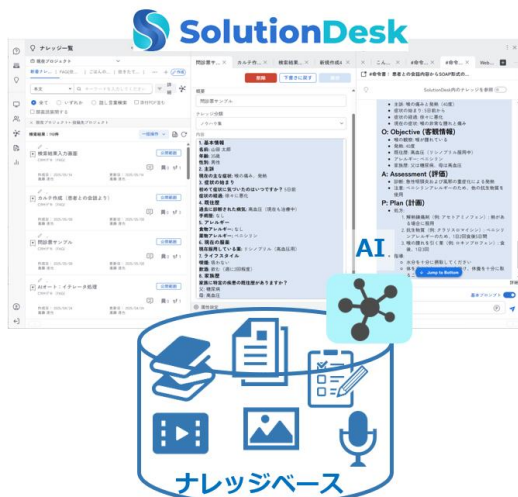


シナリオレスAIチャットボット

Webの公開情報を活用し、シナリオレスでAIチャットボット公開



ナレッジマネジメントに基づくAI活用ソリューション SolutionDesk



- ・生成AIを搭載したナレッジマネジメント基盤
- ・部門ごとに独自のナレッジベースを構築
- ・チケット管理による業務依頼・進捗管理
- ・業務に組み込める実務直結AIアプリ
- ・共通ナレッジベースを参照しAIが業務支援、自動化
- ・音声応対を起点にナレッジ化、後続業務自動化
- ・CRMやSFA、設備管理など既存システムと柔軟に連携

「AIを導入する」から「AIとともに進化する」へ

■ 柔軟なAI活用方式（DAG / ドリルダウンRAG / ARG）

SolutionDeskではAIにナレッジを「正しく使わせる」ための、柔軟なAI活用方式を用意しています。

DAG(特定参照): 指定したナレッジのみを参照。誤情報のリスクを最小限に抑え、高い信頼性が求められる業務に対応。

ドリルダウンRAG (絞り込み): 製品名や年式で絞り込んだ上でナレッジを参照。通常のRAGの課題である「似て非なる情報」の混入を防ぐ。

ARG (全件参照): 関連するすべてのナレッジを参照。網羅的な集計・比較・分析を自動化。

■ 現場の「状況判断」と「確実な処理」を両立するAIEージェント

特性の異なる2つの実行方式により、柔軟なAI処理から安定した定型処理まで対応します。

AIオート(判断型): メール受信、時間指定などをきっかけに、AIが業務処理を自動実行。

SDオート(プログラム型): 開発したコードを正確に反復実行し、安定性が求められる定型業務に対応。

■ 音声応対を起点に、ナレッジ活用から後続業務までを一体化

人と人、人とAIの音声対話をテキスト化し、チケットと紐づけて保存。通話終了をきっかけに、要約、報告書作成、新規チケット発行、ナレッジ化、外部システム連携などの後続処理を自動実行します。音声応対を単体機能で終わらせず、業務全体の流れに組み込み、効率化と品質向上を支援します。

■ 着実に成果へ導く「業務実装モデル」と「伴走支援」

AI活用が組織に定着し、成果を生み続ける仕組みを提供します。

業務実装モデル: AIと社内ナレッジを連動させた「ナレッジ×AI 業務実装モデル」を提供。業務の中でAIを組み込む場所や参照情報をあらかじめ設計し、一部業務から段階的に拡張できます。

伴走支援体制: 導入後の形骸化や属人化を防ぎ、現場の声を反映した改善を継続。社内に専門人材を確保せず、既存体制のままAI活用レベルを引き上げます。

掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。

©Accela Technology Corp. 本サービスには、当社が取得した特許（第5993848号、第7761291号）の技術を使用しています。